

## 「分析支援プログラム」を活用した効果的な取組事例（小学校）

【八潮市教育委員会】

本校では、毎年埼玉県学力学習状況調査等の結果を受け、夏季休業中の学力向上研修会において、本校児童の学力の状況について分析を行い2学期以降の学習指導改善を図っている。

分析の実施から改善策の検討までの手順を以下のように設定し実施している。

- (1)平均正答率から児童の課題を絞り込み、次に学習状況調査分析支援プログラムを活用して内容別・観点別の分布状況の把握を行う。(資料①)
- (2)学習状況調査分析支援プログラムのクロス集計を活用し、課題となる学習内容・観点と他の学習内容・観点及び質問紙調査の内容等との相関関係の分析を実施する。(資料②)  
(全体研修会で全校的な視野で課題を捉える)

※課題の明確化

- (3)分析結果から明らかになった学校課題を解決するための課題解決プランを作成する。

【全体計画・年間計画・指導改善プランの作成】(資料③、④、⑤)

- (4)学校課題解決プランをもとに、各学年で問題別の分析を実施し改善の視点や到達目標及び課題解決に向けた方策や具体的な取り組ませ方を明確にした後、学年の指導改善プランを作成する。(資料⑥)

- (5)2学期以降、各学年・学級で取り組みを実施。年度末に評価し、次年度へ活かす。

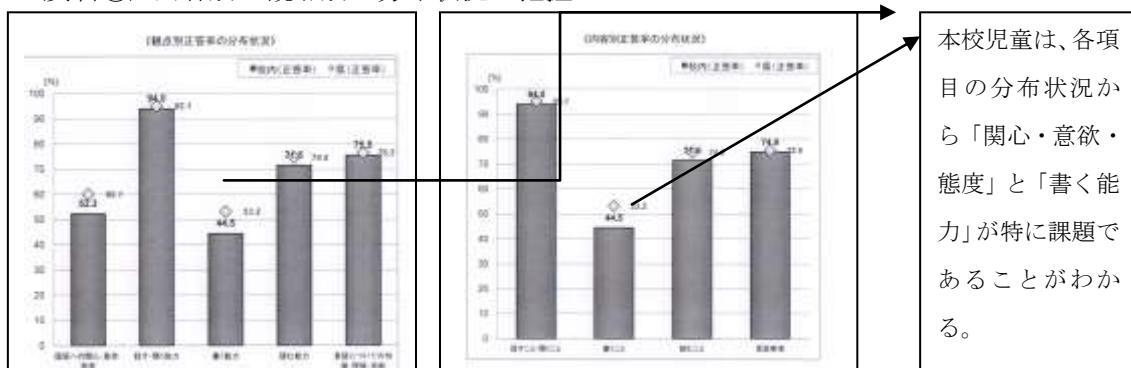
※指導改善と評価

### 【分析支援プログラムを活用した本校の取組】～国語を例に～

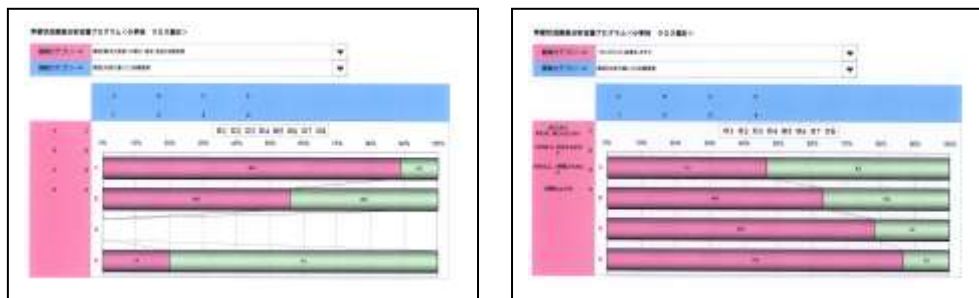
学校課題

「基礎・基本の確実な定着と既習事項を生かして思考する力・表現する力」の育成

(資料①) 内容別・観点別の分布状況の把握



(資料②)クロス集計を活用した相関関係の把握



「書く能力」と他のカテゴリーとの相関関係を分析すると、本校児童は「関心・意欲・態度」や「一日の読書時間」と強く関連していることが明らかになった。また、社会科の「社会的な思考・判断」とも強い相関が見られ、学習指導上の課題解決が単に「書くことの指導」のみではできないことがクロス集計等から読み取ることができた。(分析の一例)

(資料③)学校課題解決プラン全体計画

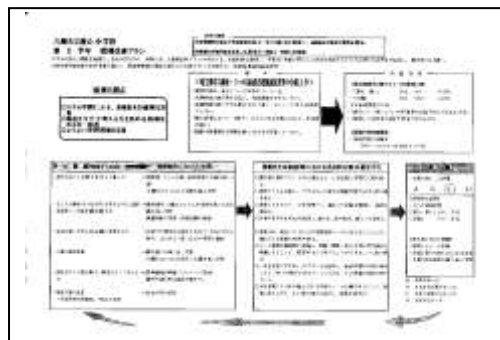


(資料④) 学校課題解決プラン年間計画

(資料⑤)指導改善プラン(全校)



(資料⑥)指導改善プラン(各学年作成)



(学年プランは評価・改善を行い次年度の担任に引き継ぎ、指導の継続を図っている)

○分析支援プログラムを活用した課題把握の後、学校課題解決プランの全体計画・年間計画を作成。課題解決プランを踏まえ、全校及び各学年で指導改善プランを作成。

○課題解決に向け、朝の15分学習(基礎・基本の時間・朝読書等)や家庭学習(家庭学習の手引きの作成・配付等)、各学年での取組(授業改善や予備時数の活用)を具体化している。

今後も、分析支援プログラムを効果的に活用し、課題の把握や課題となるカテゴリーとの相関関係をさらに分析・考察し、課題解決のための具体的な手だて・方策の検討を進め、児童の学力向上を図っていきたい。